

1. 件名：高経年化した発電用原子炉の安全規制に関する検討チームに関する面談（17）
2. 日時：令和5年8月9日（水）15：00～15：40
3. 場所：原子力規制庁8階会議室
4. 出席者（※一部テレビ会議システムにて参加）：

原子力規制庁

技術基盤グループ 技術基盤課 照井課長補佐

システム安全研究部門 小嶋上席技術研究調査官

原子力規制部 原子力規制企画課 藤森企画調査官、市川係長、伊藤係長

審査グループ 実用炉審査部門 塚部安全規制調整官

関西電力株式会社

原子力事業本部 原子力発電部門 保全計画グループ マネジャー 他15名※

原子力エネルギー協議会 部長

5. 要旨：

- 原子力事業者等から、長期施設管理計画の記載案について、前々回面談（令和5年7月6日実施）からの修正点を中心に、資料に基づき説明があった。また、準備行為に当たって、既存の評価に追加する内容が生じた場合の長期施設管理計画上の取扱いについての確認があった。
- 原子力規制庁から、長期施設管理計画の記載案の確認については、既存の評価をどのように記載するのか整理するという観点で行ってきたものであることから、引き続き今後の審査に備えて整理・検討するよう伝達した。また追加内容については、長期施設管理計画の本文に記載しなければならない事項は本文に、添付資料に関する追加する内容は添付資料に記載する必要がある旨伝達した。
- 原子力事業者等から、了解した旨の回答があった。

6. 配布資料

資料 長期施設管理計画（案）